

男女共同参画事業推進策の充実した展開を



千津子 員
下山



吉田 敏郎
議員



イベントの活性化策は
(昨年度の阿波おどり)



三史 議員
井上

本町は人口及び子どもの数は増えているものの、子ども会を解散する自治会や婦人会、老人クラブ会員の減少等の課題も露見されている。自治会役員のなり手不足など、これまで以上に地域の課題解決に対し、女性目線の多様な視点や感性を活かす環境づくりが重要な要素と考える。

問 各種審議会への女性委員の登用率の現状は。

答 情報誌「かけはし」の発行により、19団体、55名が女性で総合計画の目標値40%に対して26・8%である。一般公募枠の拡大の検討や、女性委員を推薦していただけるよう団体に働きかけていく。

問 自治会の三役のなり手不足で、役

員が苦労している。自治会長会議で積極的に女性役員の登用をお願いしては。

答 役員に女性の登用をと会議の中で促しているが、現状8.3%である。

問 庁舎内の女性職員の登用率が上がらない。積極的に女性職員の採用を考えては。

答 女性職員の割合は、37・4%。目標値は、45%程度を掲げている。ぜひ目標を達成したい。

問 啓発するため、町広報紙に男女共同参画の見える化シリーズを掲載してはどうか。町内で活躍いただいている団体やグループを紹介することで、意識の向上に繋がるものと考えるが。

答 シリーズ化していない現在でも、活躍している女性の皆さん紹介はしている。一つの案として検討をする。



町道改良事業「町道204号線」の進捗状況を問う

町民に身近な生活道路の整備や維持管理等、様々な取り組みを諦つている。が計画通りに進んでいない状況にある。

問 町道改良事業204号線の進捗状況及び計画は。

答 平成30年度末の用地取得率は、27%の見込みである。用地取得と平行して、一連つながりのまとまつた区間で、整備が可能で、整備効果が見込まれる箇所から順次工事を実施する予定である。榎本地区を先行していくよう取り組んでおり、2020年度には、工事を実施する方向でいる。

問 足柄大橋の下から大長寺までの470mで、どのくらいの距離が想定できたら工事するのか。

答 工事の延長が短いと、整備後の効果がみられない。4分割、5分割も考えつつ、十分検討して実施を考えていいくのか。

問 理解をしていただけない方に対する町からのアプローチはどのようにしていくのか。

子ども達の相談体制のさらなる充実のために

近年、いじめが後を絶たない。文部科学省によると、2017年度に全国で41万件を超える事案が認知され、過去最多を更新した。

問 ある自治体では、「いじめ・自殺防止対策」をラインで受け付けたところ、電話で相談を受けていた2年間の件数を2週間で上まわった。いじめの早期発見の手段としてSNSを活用しては。

答 県教育委員会は、平成30年度にフインの相談窓口の施行実施をした。県の動向を見定めながら研究を進めたい。

問 千葉県では2017年にアプリを使つたじめ相談、いじめをストップさせることで、一人、年間300円で、全国では190校の導入が進んでいるが。

答 子ども達の意思疎通のツールなので、それを上手に使つた相談体制は考えられるので研究は続けたい。

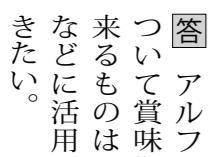
問 イベントの活性化を図るために必要な策を講じる考えは。

答 マンネリ化を防止するため、イベントごとに実行委員会を開催し、企画会議等でも意見を求める実施している。

問 町のイベントに各自治会の山車を一堂に会した企画を。

答 活用している自治会は少なく、要望している声は聴いていない。そのような企画が提案され、独自のイベントという盛り上がりがあれば、広報等の側面で支援を考えていきたい。現在実施している3大まつりに山車を取り入れることは、物理的にも困難であると考えている。今後は広く町民の意見などを聞けるよう工夫していく。

災害時の備蓄は万全か



前田 せつよ
議員

東日本大震災や西日本豪雨、そして熊本地震では、海外からの支援物資として乳児用液体ミルクを受け入れ、災害時の物資として需要が高まった。主な理由としては、液体ミルクは粉ミルクのようにお湯に溶かす必要がなく、哺乳瓶に移し替えればすぐに飲ませることが出来るため育児の負担軽減につながる。

問 防災備蓄品として液体ミルクを配備しては。

答 保存期間が短いため、備蓄品には適さないと考えている。

問 活用できなかつた金額は。

答 廃棄した分の金額は12万6千円である。

問 廃棄といふことは極力避け、様々にイベントで差しあげるなど工夫が大切と思うが。

答 アルファ米について賞味期限が来るものは、試食など工夫が大切と思うが。

答 保存期間が短いため、備蓄品には適さないと考えている。

問 活用できなかつた金額は。

答 廃棄した分の金額は12万6千円である。

問 廃棄といふことは極力避け、様々にイベントで差しあげるなど工夫が大切と思うが。

答 アルファ米について賞味期限が来るものは、試食など工夫が大切と思うが。

答 保存期間が短いため、備蓄品には適さないと考えている。

問 活用できなかつた金額は。

答 廃棄した分の金額は12万6千円である。

問 廃棄といふことは極力避け、様々にイベントで差しあげるなど工夫が大切と思うが。

答 アルファ米について賞味期限が来るものは、試食など工夫が大切と思うが。

答 保存期間が短いため、備蓄品には適さないと考えている。

問 活用できなかつた金額は。

答 廃棄した分の金額は12万6千円である。

問 廃棄といふことは極力避け、様々にイベントで差しあげるなど工夫が大切と思うが。

答 アルファ米について賞味期限が来るものは、試食など工夫が大切と思うが。

答 保存期間が短いため、備蓄品には適さないと考えている。

問 活用できなかつた金額は。

答 廃棄した分の金額は12万6千円である。

問 廃棄といふことは極力避け、様々にイベントで差しあげるなど工夫が大切と思うが。

答 アルファ米について賞味期限が来るものは、試食など工夫が大切と思うが。

答 保存期間が短いため、備蓄品には適さないと考えている。

問 活用できなかつた金額は。

答 廃棄した分の金額は12万6千円である。

問 廃棄といふことは極力避け、千方百計していきたい。

答 保存期間が短いため、備蓄品には適さないと考えている。

問 活用できなかつた金額